学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	選択/elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
 時間割コード/Time schedule code	20200586027101	科目番号 / Course code	05860271
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15051_005	作日田与 / Course code	03000271
授業科目名 / Course title	A2国際環境法 / International I	Environmental Agreements	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	/企画家级先/Z / International i	Environmental Agreements	
mixition in charge of the course syllabus	山下 敬彦/Yamashita Takahiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 敬彦/Yamashita Takahiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 敬彦/Yamashita Takahiko		
科目分類/Course Category	全学モジュール 科目,教養モジ	ュール	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	講義 / Lecture
教室/Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamac nagasaki-u.ac.jp(メール	レを送信する際は を@に置き換えて	送信してください)
担当教員研究室/Office	工学部2号館E?405		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	別途指示する		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	考え方や国際環境法の理念・精神	(国際法)の歴史と特質を理解させ を理解させ,人類の持続可能な発展 て,自主的探求能力や日本語コミュ	を実現するための基本的な知
授業到達目標/Course goals	環境問題に対する考え方,環境法を理解させる。 主に,全学モジュールの目標の	(国際法)の歴史と特質を理解させ	る。国際環境法の理念・精神
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性/Autonomy 汎用的能 /Understanding Diversity 協	力/Generic Competence 倫理観	/Ethics 多様性の理解 やり取りする力/Ability to ional / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching :	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	確認試験30%、主体的学習・レポ	ート70%で評価し、60%以上を合格	とする。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	う。(平均2時間)	おく。(平均2時間) 講義終了後	にはレポート作成の準備を行
キーワード/Keywords	環境マネージメント、国際環境法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。教材はPD	Fファイルで提供する。参考書は適	宜紹介する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	障壁の除去及び合理的配慮の提供	819-2948	合理的配慮等のサポートにつ
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	興味を持って参加してもらいたい		

実務経験のある教員による授業科目であるか	
(Y/N)/Instructor(s) with practical	N
experience (Y / N )	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ	
く教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical	
experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス:科目の概要,狙い,位置づけ,到達目標,授業の方法,各単元の到達目標,評価方法 等を理解する。
第2回	?T環境問題をどのように考えるか:環境問題とは?環境をどのように考えるか?(環境に対する基
	本的な考え方,環境倫理)等について考え,それらを簡潔にまとめる。
	?U国際環境法の歴史と特徴:二国間における紛争の平和的解決の条約から「部門別アプローチ」の
第3回	国際環境法を経て,国際共同体全体の利益を管理する取組みへと移行した歴史と,現代の国際環境
	法の特質等を理解し,簡潔にまとめる。
	?√人間環境宣言:二国間における紛争の平和的解決のための条約から「部門別アプローチ」のタイ
第4回	プの国際環境法への転機となった国際連合人間環境会議における「人間環境宣言」の主旨を理解し
	,簡潔にまとめる。
第5回	?\\ 第一世代の国際環境法:第一世代の代表的な国際環境法であるラムサール条約,ユネスコ世界遺
No I	産条約及びワシントン条約の主旨を理解し,簡潔にまとめる。
第6回	?X第二世代の国際環境法(その1):第二世代の代表的な国際環境法のうち,ウイーン条約とそれ
No on	に附属するモントリオール議定書の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第7回	?X第二世代の国際環境法(その2):第二世代の代表的な国際環境法のうち,バーゼル条約の主旨
	を理解し、簡潔にまとめる。
第8回	アンス第二世代の国際環境法(その3):第二世代の代表的な国際環境法のうち,気候変動枠組条約及
	びその第3回締約国会議で作成された京都議定書の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第9回	アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・
	それに附属するカルタヘナ議定書の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第10回	
	びストックホルム条約,水銀条約の主旨を理解し,簡潔にまとめる。
<b>空44</b> 同	アソフト・ロー(その1):ソフト・ロー的な法的拘束力のない文書の役割とそれらの文書のうち   世界自然憲章 本共原則宗章及び環境と関係といる。
第11回	│,世界自然憲章,森林原則宣言及び環境と開発に関するリオ宣言の主旨を理解し,簡潔にまとめる │
	。
第12回	?Yソフト・ロー ( その 2 ) : ソフト・ロー的な法的拘束力のない文書のうち , アジェンダ21及び持   続可能な開発に関するヨハネスプルク宣言の主旨を理解し , 簡潔にまとめる。
第13回	はわちNGO(非政府組織)の存在とその組織及び活動について理解を深める。また,気候変動枠組条
<del>为10回</del>	約と途上国,国際環境法間の連携,環境と貿易などの国際環境法の課題を理解し,簡潔にまとめ
	割こが上国、国际成境/A間の圧防、成境と貝勿などの国际域境/Aの旅遊を圧解し、間景によどの 演習
가 I 비	
945 F	テスト・レポートのまとめ:テストによる知識の定着の確認を行う。また,環境法(国際法)と環
第15回	境問題への取組みのまとめを完成させる。ポイント:もれなく,ダブリなく,分かりやすく簡潔に
77.40	自分の言葉でまとめる。
第16回	総括:講義の評価を行い,改善点等について議論する。

学期 / Semester	2020年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択/Required / Elective	1 鞋 JR / 0   0 CT   1 / 0	单位数(一般/編入/留学)/Credits General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード/Time schedule code	20200586027301	斗目番号 / Course code	05860273
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15061_005		
授業科目名/Course title	A2国内環境法 / Domestic Envir	onmental Laws	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹下 哲史/Takeshita Satoshi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	竹下 哲史/Takeshita Satoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹下 哲史/Takeshita Satoshi		
科目分類/Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	juniper nagasaki-u.ac.jp(メール	レを送信する際は を@に置き換え <sup>・</sup>	て送信してください)
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本における環境問題とそれらに対する対策の考え方や歴史,国際環境法との関係を理解させるとともに、「環境基本法」の主旨を理解させ、人類の持続可能な発展を実現するための基本的な知識と姿勢を身につけさせる。 併せて、自主的探求能力や日本語コミュニケーション能力の向上等を目指す。 日本における環境問題とそれらに対する対策の考え方や歴史、国際環境法との関係を理解させる。「		
授業到達目標/Course goals	環境基本法」の主旨を理解させる.	9 る対象の考え方や歴史,国际環境	点太との関係を理解させる.
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Understanding Diversity 協働 exchange ideas 国際・地域社会	動性/Cooperativeness 考えを への関心/Interest in internat	•
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり degree of comprehension of the c B.多角的に考えるために他者と関 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的 utilize knowledge to solve probl E.上記以外の学生の思考の活性化 students' thinking other than th F.教員からの講義のみで構成され	ontents to the lesson or to thi わる活動    Activities to practice t に活用する活動  	ink over  Iving others to think from  for acquiring skills  s that comprehensively  methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of	主体的学習20%,試験20%,レポート		
evaluation			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習は特に必要ありませんが,環境 (2h). 授業後は,提示資料と授業内容をレ		
キーワード/Keywords	日本の環境問題 環境対策の考え方 環境教育		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない. 教材はPDFファ	ァイルで提供する. 参考書は適宜紹	引介する.
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に表障壁の除去及び合理的配慮の提供にいては,担当教員(上記連絡先参照)。 アシスト広場(障がい学生支援室) (TEL)095-819-2006(FAX)095-81 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.	取り組んでいます。授業における1)または「アシスト広場」(障がい 連絡先 9-2948	合理的配慮等のサポートにつ
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	特になし		

第1回 日本における環境関連とそれらへの対策の考え方や歴史,さらに国際環境法との関係等を理解する.  「環境基本法】 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要、目的、基本理念、及び各主体の責務を中心に理解する. 「環境基本計画」日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する. 「環境基本計画」日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する. 「環境基本計画」日本における環境政策の基本である環境基本計画の概要並びに第五次環境基本計画の主旨を理解する. 「環境基本計画」日本における環境政策の展開の方向について理解する。. 「環境基本計画」第五次環境基本計画における環境・経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する。. 「環境基本計画」第五次環境基本計画における電点戦略の設定と電点戦略ごとの環境政策の展開について理解する。. 「環境基本計画」第五次環境基本計画における電点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する。. 「環境基本計画」第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。. 「環境基本法面)第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。. 「環境基本法面) 「環境基本計画」 現境基本法の形成 「環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要。目的、基本原則等を理解する。.  第10回 【個環型社会の形成】 環境基本法の下位法である性物を様性基本法の概要。目的等を理解する。. 「エネルギー政策 第11回 【領環型社会の形成】 環境基本法の下位法である性物を様性基本法の概要。目的等を理解する。. 「エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分理について理解する。」 「エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分理について理解する。 「エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分理に対する法律) 「現場のでによる環境保険の規制等による環境保険の規制等による環境保険の規制の定義の確認を行う。 「まとめ」 実際の関係による知識の定義の確認を行う。 「まとめ」 実際の環境による知識の定義の確認を行う。 「まとめ」 実際の環境による知識の定義に関する法域の定義を理解する。」 「国境政策を理解する。」 「国境政策を理解する。」 「国境政策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を解する」 「国域策を解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解する」 「国域策を理解		
宋教宗教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験の容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験の容 / 実務経験に基づくのはまして (		
乗務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業料目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course  ②(日時) / Time (date and time)		N
教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course   授業内容 / Contents of course   授業内容 / Contents   授業内容 / Contents		
日のみ使用	実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ	
接業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time (date and time) 授業内容 / Contents 第1回 日本の環境と環境政策	く教育内容(実務経験のある教員による授業科	
接業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time (date and time) 授業内容 / Contents 第1回 日本の環境と環境政策	目のみ使用)/Name / Details of practical	
授業内容 / Contents   授業内容 / Contents   授業内容 / Contents   日本における環境と環境政策   日本における環境に関するとれたの対策の考え方や歴史、さらに国際環境法との関係等を理解する。	·	
第1回		
第1回 日本における環境関連とを積換数で 日本における環境関連とそれらへの対策の考え方や歴史、さらに国際環境法との関係等を理解する。 「環境基本法】 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要、目的、基本理念、及び台主体の責務を中心に理解する。 「環境基本法】 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する。 「環境基本計画 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する。 「環境基本計画 日本における環境政策の基本である環境基本計画の概要並びに第五次環境基本計画の主旨を理解する。 「環境基本計画 第五次環境基本計画 第五次環境基本 1	1000 Se ochedure	
第1回 日本における環境問題とそれらへの対策の考え方や歴史、さらに国際環境法との関係等を理解する。 【環境基本法】 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要、目的、基本理念、及び各主体の責務を中心に理解する。 【環境基本法】 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する。 【環境基本計画】 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画しまりる環境・経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画[まける重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画[まける重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画[まける重点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 【環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要、目的等を理解する。 【工术ルギー政策】 エネルギー政策】 エネルギー政策】 エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。 【エネルギー政策】 エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。 【オゾン層の保護に関する法律】 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する。 【環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【東境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【東省教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【東省教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【東省教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【まとめ】 第14回 【東部】 第15回 【東古の環境法法として、日本の環境を介証、日本の保護に関する法律の主義を理解する。 【現場教育等による環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の環境を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証、日本の関域を介証を介証を介証を介証。日本の関域を介証を介証を介証を介証を介証を介証を介証を介証を介証を介証を介証を介証を介証を	回(日時)/Time(date and time)	
第2回 日本における環境问題とでれらべい対象の考え方や歴史、さらに関係を視えるとの関係等を理解する。 「環境基本法] 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要、目的、基本理念、及び各主体の責務を中心に理解する。 「環境基本計画] 日本における環境政策の基本である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する。 「環境基本計画] 日本における環境政策の基本である環境基本計画の概要並びに第五次環境基本計画の主旨を理解する。 「環境基本計画] 第五次環境基本計画における環境・経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する。 「環境基本計画] 第五次環境基本計画における重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する。 「環境基本計画] 第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開とび計画の効果的実施について理解する。 「環境基本計画] 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 「環境基本計画] 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 「環境基本法面] 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 「環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要、目的、基本原則等を理解する。 「工本ルギー政策」 「本ルギー政策」 「エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。 「オゾン層の保護に関する法律」 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する。 「環境教育等による環境保全の拠組の促進に関する法律の主旨を理解する。 「環境教育等による環境保全の収組の促進に関する法律の主旨を理解する。 「環境教育等による環境保全の収組の促進に関する法律の主旨を理解する。 第14回 「環路」 第間間による知識の定着の確認を行う。 第15回 「まとめ」 第15回 「まとめ」 第15回 「まとめ」	第1回	
第2回 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要、目的、基本理念、及び各主体の責務を中心に理解する。 【環境基本法】 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する。 【環境基本計画】 日本における環境政策の基本である環境基本計画の概要並びに第五次環境基本計画の主旨を理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画[お日本環境・経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する。 「環境基本計画]第五次環境基本計画における重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する。 「環境基本計画]第五次環境基本計画における重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する。 【環境基本計画]第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する。 【環境基本計画]第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 第8回 【環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 【環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 【環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要、目的、基本原則等を理解する。 【「環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要、目的等を理解する。 【「電理型社会の形成】 エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。 【エアルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。 【「東境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全促進法】 「環境教育等による環境保全促進法】 「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【まとめ】 学習した国内環境法について、レポートとしてまとめる。	, 카디	
#3回 中心に理解する.  「環境基本法] 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する.  「環境基本計画] 日本における環境政策の基本である環境基本計画の概要並びに第五次環境基本計画の主旨を理解する.  「環境基本計画] 第5回 第五次環境基本計画における環境・経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する.  「環境基本計画] 第五次環境基本計画における重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する.  「環境基本計画] 第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する.  「環境基本計画」第五次環境基本計画における遺境保全施策の体系について理解する.  「環境基本計画」第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する.  「環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する.  「環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する.  「環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する.  「循環型社会の形成] 環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要、目的、基本原則等を理解する.  「エネルギー政策の外表での対象でが表替性基本法の概要、目的、基本原則等を理解する.  「エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。  「オゾン層の保護に関する法律] オゾン層保護法(特定対域の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.  第12回 「オゾン層の保護に関する法律」 オゾン層保護法(特定対域の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.  「環路] 「環境教育等による環境保全促進法) 環境教育等による環境保全促進法) 環境教育等による環境保全促進法) 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.  「議覧別による知識の定着の確認を行う.  第15回 「まとめ」 学習した国内環境法でいいて、レポートとしてまとめる.		
「環境基本法] 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する. 「環境基本計画	第2回	
#30回 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の基本的施策の主旨を理解する.		
第4回 日本にわける環境以策の基本である環境基本計画の概要並びに第五次環境基本計画の主旨を理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画における環境、経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する。 【環境基本計画 第五次環境基本計画における重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する。 【環境基本計画 第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開について理解する。 【環境基本計画 第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開について理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 【環境基本計画 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 【環境基本計画】 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 【生物多様性を確保】 環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要、目的、基本原則等を理解する。 【循環型社会の形成】 環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要、目的等を理解する。 【エネルギー政策】 エネルギー政策 1 エネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。 【エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。 【オゾン層の保護に関する法律】 オソン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する。 第12回 【オゾン層の保護に関する法律】 第2回 【東境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 第14回 【環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 第15回 【電域教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【電域教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【電域教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【電域教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。 【電域教育等による現境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。	第3回	
### 日本における環境政策の基本である環境基本計画の概要並びに第五次環境基本計画の主旨を理解する。  【環境基本計画】 第五次環境基本計画】 第五次環境基本計画   第五次環境基本計画における環境・経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する。  【環境基本計画】 第五次環境基本計画における重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する。 【環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する。 【環境基本計画   第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 【環境基本計画   第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。 【生物多様性の確保】 環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要。目的、基本原則等を理解する。  【1 環境型社会の形成】 環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要。目的等を理解する。  【1 東京型社会の形成】 第11回	73°I	
3	*** · •	
環境基本計画	第4回	
第5回 第五次環境基本計画における環境・経済・社会の状況及び環境政策の展開の方向について理解する .		
第6回 【環境基本計画】 第五次環境基本計画における重点戦略の設定と重点戦略ごとの環境政策の展開について理解する. 【環境基本計画】 第五次環境基本計画】第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する. 【環境基本計画】第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する. 【生物多様性の確保】 環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要,目的,基本原則等を理解する. 【循環型社会の形成】 環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する. 【エネルギー政策】 エネルギー政策】 エネルギー政策】 エネルギー政策】 第11回 【オゾン層の保護に関する法律】 オソン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する. 第13回 【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する. 第14回 【演習】 漢習問題による知識の定着の確認を行う. 第15回 【まとめ】 学習した国内環境法?について、レポートとしてまとめる.	77 C	
第五次環境基本計画   第五次環境基本   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次联市   第五次联市   第二级联市   第二级联市	界5四	
第五次環境基本計画   第五次環境基本   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次環境   第五次联市   第五次联市   第二级联市   第二级联市		・
(環境基本計画	第6回	
第五次環境基本計画における重点戦略を支える環境政策の展開及び計画の効果的実施について理解する。  「環境基本計画」 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。  【生物多様性の確保】 環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要,目的,基本原則等を理解する。  【循環型社会の形成】 環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する。  【エネルギー政策】 エネルギー政策】 エネルギー政策】 エネルギー政策する。  【オゾン層の保護に関する法律】 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する。  【環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。  第13回 【環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。  第14回 【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う。  【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる。		
第8回 【環境基本計画】 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する. 【生物多様性の確保】 環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要,目的,基本原則等を理解する. 【循環型社会の形成】 環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する. 【エネルギー政策】 エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について,その基本方針と各主体の役割分担について理解する. 【オゾン層の保護に関する法律】 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する. 【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する. 【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う. 【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる. 【総括】	第7回	LT 11 17 T 1 17 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
第8回	, 차 ' 드	
第3回 第五次環境基本計画における環境保全施策の体系について理解する。  【生物多様性の確保】 環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要,目的,基本原則等を理解する。  【循環型社会の形成】 環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する。  【エネルギー政策】 エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について,その基本方針と各主体の役割分担について理解する。  【オゾン層の保護に関する法律】 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する。  第13回 【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。  【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う。  【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる。  第16回 【総括】		
第9回       【生物多様性の確保】         環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要,目的,基本原則等を理解する.       【循環型社会の形成】         環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する.       【エネルギー政策】         第11回       【オルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について,その基本方針と各主体の役割分担について理解する.         第12回       【オゾン層の保護に関する法律】         オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.       【環境教育等による環境保全促進法】         環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.       【演習】         第14回       【演習問題による知識の定着の確認を行う.         第15回       【まとめ】         学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる.       【総括】	第8回	
環境基本法の下位法である生物多様性基本法の概要,目的,基本原則等を理解する.  【循環型社会の形成】 環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する.  【エネルギー政策】 エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について,その基本方針と各主体の役割分担について理解する.  第12回 【オゾン層の保護に関する法律】 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.  第13回 【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.  第14回 【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う.  【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる.  第15回 【総括】		
<ul> <li>第10回</li> <li>【循環型社会の形成】</li> <li>環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する。</li> <li>【エネルギー政策】</li> <li>エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について,その基本方針と各主体の役割分担について理解する。</li> <li>第12回</li> <li>【オゾン層の保護に関する法律】</li> <li>オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する。</li> <li>【環境教育等による環境保全促進法】</li> <li>環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。</li> <li>【演習】</li> <li>演習問題による知識の定着の確認を行う。</li> <li>【まとめ】</li> <li>学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる。</li> <li>第16回</li> </ul>	第9回	
第11回 環境基本法の下位法である循環型社会形成推進基本法の概要,目的等を理解する.  【エネルギー政策】 エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について,その基本方針と各主体の役割分担について理解する.  第12回 【オゾン層の保護に関する法律】 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.  【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.  【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う.  【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる.  【総括】		
第11回       【エネルギー政策の大きな方向性を示すエネルギー政策基本法について、その基本方針と各主体の役割分担について理解する。         第12回       【オゾン層の保護に関する法律】 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する。         第13回       【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する。         第14回       【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う。         第15回       【まとめ】 学習した国内環境法?について、レポートとしてまとめる。         第16回       【総括】	第10回	
# 11回		·
#11回 分担について理解する.  第12回 【オゾン層の保護に関する法律】 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.  第13回 【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.  【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う.  第15回 【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる.  【総括】	<b>244</b> E	
#12回 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.  【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.  第14回 【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う.  第15回 【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる.  【総括】	第11回	· ·
#12回 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.  【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.  第14回 【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う.  第15回 【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる.  【総括】		
#12回 オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.  【環境教育等による環境保全促進法】 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.  第14回 【演習】 演習問題による知識の定着の確認を行う.  第15回 【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる.  【総括】	<b>第40</b> 周	【オゾン層の保護に関する法律】
第13回 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.  第14回	第12回	オゾン層保護法(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律)の主旨を理解する.
環境教育寺による環境保証の収組の促進に関する法律の主首を理解する。  (演習】  演習問題による知識の定着の確認を行う。  (まとめ】  学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる。  (総括】	第12回	【環境教育等による環境保全促進法】
第14回演習問題による知識の定着の確認を行う。第15回【まとめ】 学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる。第16回【総括】	513円	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の主旨を理解する.
第15回       【まとめ】         学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる。         【総括】	第14回	
第15回       【まとめ】         学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる。         第16回       【総括】	# I 4 I I	演習問題による知識の定着の確認を行う.
字音した画内環境法化でいて、レホートとしてまとめる。 第16回	第15回	【まとめ】
	HIVE	学習した国内環境法?について,レポートとしてまとめる.
	第16回	
講義の評価を行い、改善点等について議論する.	N 10E	講義の評価を行い,改善点等について議論する.

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択/Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード/Time schedule code	20200586027501	科目番号 / Course code	05860275
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15071_005		
授業科目名/Course title	A2国内環境法 / Domestic Env	ironmental Laws	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi,河合 :	孝尚/Kawai Takahisa	
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	久保 隆/Kubo Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保 隆 / Kubo Takashi,河合 :	孝尚/Kawai Takahisa	
科目分類/Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	講義 / Lecture
教室/Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	多文化社会学部、教育学部、経済	学部、薬学部、水産学部	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address		ルを送信する際は を@に置き換えて	て送信してください)
担当教員研究室/Office	環境科学部 環335室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2756		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	を理解させ、人類の持続可能な発展	の主旨を理解させるとともに , 環境 展を実現するための基本的な知識と ュニケーション能力の向上および社	姿勢を身につけさせる。併せ
授業到達目標/Course goals	0	解する。環境保全や環境コミュニケ	ーションの重要性を理解する
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能;   / Understanding Diversity 協		/Ethics 多様性の理解 やり取りする力/Ability to ional / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prot E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主体的学習20%,試験20%,レポ	ート60%で評価し,60%以上を合格	とする。
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 )/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講講義資料を復習すると共に,講	、それについてネットなどを使って 義内容をまとめ、理解を深める。(2	h)
キーワード/Keywords		ュニケーション,日本のエネルギー	事情
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。教材はPD 参考書:「地球環境問題がよくわま	かる本」(2017)オーム社	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	授業外学習に充てるべき時間:週		10 24 - 12 18 1 2 10 10 3 ± 1 0 ± 1
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	障壁の除去及び合理的配慮の提供	319-2948	合理的配慮等のサポートにつ
備考(URL)/Remarks (URL)		••	
学生へのメッセージ/Message for students	聴くだけでなく、グループディス: 取組を期待します!	カッション等で発言を求められるこ	とも多い講義です。積極的な

ウカダい。ナスガロによる坂野のロマナスル	
実務経験のある教員による授業科目であるか	
( )	N
experience (Y / N )	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ	
く教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical	
experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	大気環境の保全:
, 차 ' 디	大気汚染防止法の主旨を理解し,簡潔にまとめる。
第2回	水環境の保全:
<b>光2</b> 日	水質汚濁防止法の主旨を理解し,簡潔にまとめる。
第3回	廃棄物の処理:
<del>第</del> 5日 	廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)の主旨を理解し,簡潔にまとめる。
第4回	エネルギー使用の合理化:
<del>54</del> 四	省エネ法(エネルギー使用の合理化に関する法律)の主旨を理解し,簡潔にまとめる。
第5回	地球温暖化対策:
朱 3 四	温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)の主旨を理解し,簡潔にまとめる。
第6回	日本のエネルギー事情(その1):
第6回	日本のエネルギー事情について学ぶ。
<b>第7</b> 同	日本のエネルギー事情(その2):
第7回	日本のエネルギー事情について学ぶ。
	化学物質の管理(その1):
第8回	PRTR法,化管法(特定化学物質の排出量の把握等及び管理の促進に関する法律)の主旨を理解し,
	簡潔にまとめる。
笠0回	化学物質の管理(その2):
第9回	化学物質等安全性データシートの概要を理解する。
<b>第40</b> 回	化学物質の管理(その3):
第10回	毒物及び劇物取締法の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
	環境への配慮:
第11回	環境配慮促進法(環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に
	関する法律)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
	環境物品等:
第12回	グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進に関する法律)の主旨を理解し,簡潔にまと
第12回	める。
第12回	環境報告書:
第13回	長崎大学環境報告書等を例にとり,環境コミュニケーションの重要性について理解を深める。
<b>第44</b> 回	演習:
第14回	演習により、知識の整理を行う。
	まとめ:
第15回	テストによる知識の定着の確認を行う。また,環境関連法(国内法)と環境コミュニケーションの
第15回	まとめを完成させる。ポイント:もれなく,ダブリなく,分かりやすく簡潔に自分の言葉でまとめ
	<b>ర</b> 。
第16回	総括:
자 IV의	講義の評価を行い、改善点等について議論する。